

Question: 3



離床はいつから流行っていたのですか？

ベテランからの Answer



1940年代が最初の流行と言われています。

解説

流行、というのはおかしな表現かもしれませんが、離床が世界に広まったのは、第2次世界大戦が勃発した1940年代と言われています。それまでは、病気にかかったら、寝たままのほうが良いのではないか、と、考えられていました。しかし、戦争が起こり最前線から傷ついた兵士が入院するようになると、病床が足りなくなってしまったため、早く起こして退院させる動きが世界で強まりました。その効果が論文で報告⁴⁾されるようになり、世界に認知されるようになったのです。



離床知恵袋

第2次の流行は 1960年代のチェ アーセラピー

その後、さらに離床が世界に広まったのは1960年代です。心臓の手術後に、ベッド脇のひじ掛け椅子に患者さんを座らせた⁵⁻⁶⁾ことをきっかけに、離床がさらに進むようになりました。



まめ知識

鎮静薬の進歩が離床に貢献！？

ここ数十年で、離床がさらに進むようになった背景として、鎮静薬の進歩が挙げられます。昔は、主にミダゾラムという鎮静薬を使用しており、投与すると深く眠ってしまう薬剤しか選択肢がありませんでした。しかし、プロポフォールや、デックスメトミジンといった、浅い鎮静状態を実現できる薬剤が開発されると、その薬剤を投与した患者、もしくはなるべく投与しなかった患者の離床が早まることがわかり、現代では、気管内挿管したままでも離床するようになりました。鎮静薬の進歩は、確実に離床を後押ししたといえるでしょう。

→ 離床完全マニュアル 2 P.145



写真協力
ヴィアトリス
製薬株式会社

写真協力
ニプロ
株式会社

浅鎮静の実現が離床を大きく変えた